



『秋季全国火災予防運動』が実施されます

令和3年11月9日（火）から11月15日（月）までの7日間にわたり、「令和3年度秋季全国火災予防運動」が実施されます。

今年度の防火標語は、

『**おうち時間 家族で点検 火の始末**』です。

重点目標として、「乾燥時及び強風時の火災発生防止対策の推進」や「特定防火対象物等における防火安全対策の徹底」等が定められ、消防署等の関係機関と連携した安全教育の充実が求められています。

空気が乾燥し、火災が起こりやすい季節となっておりますので、引き続き、児童生徒等の事故未然防止と学校・園における安全体制の整備に努めていただくよう、よろしくお願いいたします。



【火災想定避難訓練取組事例】

① 地元消防署と連携した取組（登米市立豊里小・中学校）

同校では、新型コロナウイルス感染症の防止対策として、9/24（金）に小学校、30（木）に中学校で防災訓練を実施しました。

登米消防署の方からは、火災時における対応等についてのお話をいただきました。

小学生は、避難訓練後に「みやぎ防災教育副読本」を活用した振り返りを行い、「振り返りクイズのプリント」や映像を見ながら、火災時における対応について再確認しました。

中学生は、防災マップや簡易担架づくり、応急処置や救命救急、避難所設営ゲーム（HUG）等を行い、いざという時に行動ができるよう、学年ごとに学習しました。



② 管理職等不在を想定した取組（柴田農林高等学校川崎校）

10/28日（木）に、地震及び火災発生時の対応を管理職等不在の想定で避難訓練を実施しました。 ※柴田農林高校川崎校HP（ブログ）参照

訓練では、管理職（副校長）及び養護教諭が不在時においても、指示系統及び業務分担が適切に行われるよう、限られた教職員であらかじめ準備していた指示書（アクションカード）を参考に、生徒の安全確保並びに救護活動を実施しました。

また、訓練には、同校の教職員・生徒以外にも、岩沼高等学園川崎キャンパスの教職員・生徒も参加し、緊急時の対応を確認しました。川崎校の生徒による救護協力も行われたほか、両校代表生徒数名による水消火器での消火訓練も行われました。



① 教務部長	② 事務部長	③ 生活部長	④ 体育部長	⑤ 保健部長
災害対策本部会議 (校長) 副校長 各部長 防災主任 キャンパス代表				
災害対策本部会議 (司会) 防災主任 <input type="checkbox"/> 人員の把握 (避難者、不明者、負傷者) <input type="checkbox"/> 校内外の状況 <input type="checkbox"/> 災害の状況 <input type="checkbox"/> 自治体・気象台等からの発表 ・避難指示等 (警戒レベル) ・気象情報等 <input type="checkbox"/> 周囲の状況 ・川崎町 (一区域、近隣小中学校等との情報交換) ・通学路 (止砂崩れ、交通事故など) ・生徒居住地の安全性 (仙台、村田町、大河原、鹿田町、蔵王町ほか) <input type="checkbox"/> 二次災害の可能性 ・地域 (他の小中学校等) ・通学路 ・生徒居住地 <input type="checkbox"/> 二次避難の必要性 <input type="checkbox"/> 今後の対応 ・通常授業に戻る ・一斉下校 ・校舎引き渡し ・学校待機・宿泊 ・避難所開設				